

# 復職支援講習会Ⅱ

## 【重要なお知らせ】

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（\*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都福祉保健局よりの委託事業となっております。**  
**つきましては受講対象者は以下の方に限ります。**
  - ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
  - ② 学生
  - ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

## 【申込期間】

- 東京都歯科技工士会会員・学生（上記①②番）：1月5日(木) AM10時～
  - 東京都内在住在勤歯科技工士（上記③番）：1月7日(土) AM10時～
- \*受付開始日前のお申し込みは無効といたします。 \*定員になり次第締切といたします。

## 【申込方法】

- ① 参加希望者は右記QRコード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。  
ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>
- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。



申込用QR

## 【LINE公式アカウント登録のお願い】

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



都技LINE公式アカウントQR

## 【お問い合わせ】

一般社団法人 東京都歯科技工士会  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F  
e-mail: [togi-info@to-ginet.com](mailto:togi-info@to-ginet.com)

## 2022年度 復職支援講習会Ⅱ

### オンラインセミナー

# “寺子屋” デジタルワークフロー

## 【講師】

- 第1部 鍛冶田 忠彦 先生
- 第2部 平野 拓幹 先生
- 第3部 伊藤 良信 先生, 藤岡 幸司 先生
- 第4部 田中 文博 先生

Tokyo master course Science Lecture



【開催日時】  
2023年 2月5日 日

入室 12:40

開始 13:00 → 終了 17:00

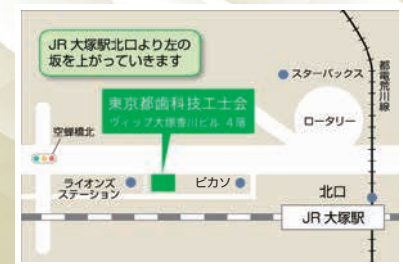
### オンラインセミナー

定員 80名 参加費 無料

### 会場受講

定員 10名 参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室  
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F  
一般社団法人 東京都歯科技工士会



都技  
生涯  
研修

# “寺子屋”デジタルワークフロー

## 第1部

### Digital Dentistryの 黎明期～現在まで

ミレニアムから20年、世界中がIT化を推進し、ITは日常生活にすっかり溶け込んできている。歯科技工におけるIT化も確実に反映されているのだろうか、アナログから切り離され、仮想空間内の便利さだけにフォーカスされていないだろうか。歯科技工は本来、術者の知識と経験による技術力により支えられてきた医療技術職である。そこにCAD/CAMという革新的な技術が疾風迅雷の勢いで駆け抜け、現在のDigital Dentistryが構築されたと思われている方も少なくないだろう。

今回、私は歯科技工士として、この技術開発に半世紀前から取り組んできた先人の方々に敬意を表しつつ、歯科におけるデジタルの進化の歴史について皆様と共有していきたいと思う。

温故知新という言葉を掲げ、現在デジタル技工に携わっている皆さんが、その歴史を改めて知ること新たな考えが浮かび、さらなる技術革新の火が灯ることを切に願っている。

最後に歯科技工におけるデジタルはアナログを駆逐するものではなく、私が2014年全都講習会において提唱したテーマ「デジタルとアナログの融合」これこそが、これからの歯科技工士に求められる考え方だと思っている。

#### ■ 講師略歴



### 鍛治田 忠彦 [かじた ただひこ]

- 新東京歯科技工士学校同窓会「技新会」会長
- 東京都歯科技工士会大田支部所属
- Study Club Showa organizer

- 1960年 愛媛県生まれ
- 1984年 新東京歯科技工士学校卒業
- 1987年 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校実習科卒業
- 1987年 昭和大学歯科病院中央技工室勤務
- 2019年 歯科技工室責任者を経て定年退職
- 2021年 東京滋慶学園新東京歯科技工士学校教務部所属となる

## 第2部

### 矯正技工 デジタルワークの現在

現在の矯正技工のデジタル分野では、技工物本体をデータ上で設計するCAD工程、3Dプリンター等の機器を使用し製造するCAM工程に加え、歯科医師の審査診断を助力するためのシミュレーションの3つの領域があると考えられます。

特に近年では、CBCT (Cone Beam Computed Tomotherapy) とIOS (Intraoral Scanner) の普及により、歯科矯正治療の審査診断時において、歯冠と顎骨の位置関係だけではなく歯根と顎骨内の各硬組織の位置関係から患者それぞれに適した治療ゴールの設定を求める傾向にあり、ここに係るデジタル上でのシミュレーションが高い注目を集めております。

本講演では歯科医師からCBCTデータ/IOSデータを歯科技工所が受け取り、矯正技工物が完成するまでのデジタルワークフローについて、従来の技工操作と比較しながらお話しします。

#### ■ 講師略歴



### 平野 拓幹 [ひらの たくみ]

- (株)アソインターナショナル  
事業統括部営業課課長
- 2008年 (株)アソインターナショナル入社

## 第3部

### Milled Digital Denture の概要

弊社は、人工歯の製造・販売からマテリアルメーカーとして創業いたしました。2023年でリヒテンシュタイン社は創立100周年を迎えます。義歯製作システムでは、「BPS」をヨーロッパの大学と共に開発、人工歯開発、義歯製作の義歯床精密重合システムをご案内して参りました。

2022年に特定保険医療材料であるCAD/CAM冠用材料に、CAD/CAMインレーの保険適用が告示されましたが、歯冠修復の製作過程において、酸化ジルコニウム、ニケイ酸リチウムブロックなどセラミック材料を切削するデジタル機器導入が急速に進化しています。

義歯製作においては、製作過程が複雑でありデジタル化の困難さが指摘されていましたが、デジタルデンチャーの義歯製作システムとして、3Dプリント技術による樹脂積層が厚労省より認可され、デジタルデンチャーが現実的な技術として注目されました。

PMMAディスクを切削するデジタルデンチャーとして、弊社より2021年5月にMilled Digital DentureシステムとしてPMMAディスク認証承認を取得、販売開始となりました。

今回の講演では、前半にMilled Digital Dentureシステムの概要、後半にデジタル設計の基本コンセプトについてオペレーション画面を表示しながら説明させていただきます。

#### ■ 講師略歴



### 伊藤 良信 [いとう よしのぶ]

- 1970年 大阪府生まれ
- 1996年 東京歯科技工専門学校卒業
- 1996年 世田谷区内 歯科製院勤務
- 2012年 Ivoclar(株)入社  
マーケティング部プロダクト・IvoclarAcademy 所属



### 藤岡 幸司 [ふじおか こうじ]

- 1985年 兵庫県生まれ
- 2005年 大阪歯科学院専門学校卒業
- 2018年 Ivoclar(株)入社  
マーケティング部プロダクト・IvoclarAcademy 所属

## 第4部

### デジタルテクノロジーが もたらした歯科補綴の可能性

近年、歯科領域へのデジタル化により手作業を中心とした製作方法からCAD/CAM機器を使用した製作方法へと臨床現場が大きく変化しました。

2014年に保険収載されたCAD/CAM冠は適応範囲の拡大も追い風となり、CAD/CAM機器の普及率はさらに高くなりました。現在は口腔内スキャナーの普及により、口腔内スキャンデータからの補綴物製作を行う機会が増えてデジタル技工の勢いはさらに加速しています。

今回はデジタル技工の基本的な流れやデジタル技工が従来の技工と異なる点をお伝えしながら、これから導入を検討されている方やCAD/CAM初心者に解りやすいように解説を行いたいと思います。

#### ■ 講師略歴



### 田中 文博 [たなか ふみひろ]

- (株)コアデンタルラボ横浜
- 1994年 横浜歯科技術専門学校卒業
- 同年 (株)コアデンタルラボ横浜入社  
現在に至る